

# 「上手く描けるより大切なこと」 SNS 総フォロワー150 万人 みいるかさんが伝えたい“イラストの楽しみ方”

～活用事例紹介「ibisPaint で広がる世界」 Vol.9～



モバイルペイントアプリ「ibisPaint(アイビスペイント)」を開発・運営する株式会社アイビス(東証グロース、証券コード:9343、代表取締役社長:神谷 栄治)では、「アイビスペイントで広がる世界」と題した不定期連載を掲載中。世界 200 を超える国と地域にユーザーをもつアイビスペイントが、どのようなシーンで活用され、クリエイティブが生まれているのかご紹介いたします。



イルカや海の生き物をモチーフにしたゆるふわイラストで、SNS 総フォロワー数 150 万人を超えるイラストレーター・動画クリエイターのみいるかさんにお話を伺いました。元水族館の解説員という経歴を持ち、オリジナルキャラクター「ゆるいるか」を中心に、グッズや書籍など幅広く展開。小学生・中学生を中心に多くの支持を集めています。今回は、イラストを描き始めたきっかけから現在の活動に至るまでの歩み、そしてイラストの楽しさやアイビスペイントの活用方法についてお話を伺いました。

みいるかさんアイコン (画像上)  
ゆるいるかグッズ (画像下)

## 子どもたちへの発信で意識する「SNS との向き合い方」

—まず、イラストを描き始めたきっかけや、アイビスペイントとの出会いについて教えてください。

**みいるかさん:**絵を描くことは幼いころからずっと好きで、昔から海や陸のいろいろな動物を描いていました。もともとアナログで描いたのですが、電車通学で片道 2 時間ほどかかるようになり「移動時間で何かできないかな」と考え、スマートフォンで描ける無料アプリを探して出会ったのがアイビスペイントです。そこからデジタルイラストを描き始め、5 年ほど経って、SNS での発信を始めました。

学生時代のイラスト (アイビスペイント)



—みいるかさんといえば、TikTok や YouTube など SNS でも大人気です。特に子どもたちに寄り添った発信をされている印象がありますが、意識していることを教えてください。

**みいるかさん:**私のフォロワーは小学生や中学生が多いので、SNS の使い方やコメントの取り扱いには特に気を付けています。例えばライブ配信のコメントで個人情報を書いてしまうことがあった場合にはすぐに削除したり、危険だと判断した場合はブロックするなど、対応するようにしています。

年齢的にインターネットの危険性を十分に理解するのが難しい子も多いので、「安全に使える環境をつくること」は常に意識しています。見ている子たちに安心して楽しんでもらえる場にしたいという思いが強いですね。また、「安心して子どもに見せられる」という声を保護者の方からいただくこともあって、そうした反応はすごく嬉しいです。

## 自分らしくイラスト制作を楽しむために大切なこと

—イラストを描く子どもたちに向けて、普段どんなことを伝えていますか？



**みいるかさん:**「上手くなれない」とか「自分は下手だ」と気にしている子は多いんですが、まずは気にしすぎなくていいよと伝えています。**絵はすぐに上達するものではなくて、積み重ねで少しずつ伸びていくものですし、成長のスピードも人それぞれです。**「周りと比べすぎていないかな」「焦りすぎていないかな」「楽しんで描けているかな」というところを大切にしてほしいです。SNS の時代だからこそ、どうしても他の人の作品と比べてしまいがちですが、「**他の人**」ではなくて「**過去の自分**」と比べてほしいですね。

みいるかさん主催のおえかき教室の様子

—気持ちの面に加えて、描き方のコツなど技術的なアドバイスをお願いします。

**みいるかさん:**「しっかり観察すること」が大事だと思っています。例えばイルカを描くときに背中のはれを2つ描くと、サメになってしまう。こういう細かい違いは、「ちゃんと見ているかどうか」で変わってきます。描きたいものがあるときは、形や特徴をしっかり観察することや、その生き物について少し知識をつけることが大切です。

あとは、絵の上達だけに限らず、幅広い経験をすることも大事だと感じています。いろいろな場所に行ったり、人と話したり、日常の出来事を振り返ったり、そういった体験が、表現の幅につながっていくと思います。

—子どもたちの絵を実際に見たとき、受ける印象や感じるものがあればお聞かせください。

**みいるかさん:** やはり大人の絵とは違うエネルギーを感じます。例えばパースがずれていたり、技術的には未完成な部分もあるかもしれませんが、一枚の絵として見たときに伝わってくるものがすごく強く、面白いなと感じます。

子どもたちの絵から刺激をもらうことも多く、「もっと自由に描いていいんだな」と思えることがあります。

今までは描きたい構図があっても、「難しいからやめておこう」とってしまうこともあったんですが、子どもたちが思いきり描いているのを見ると、「自分も挑戦してみよう」と思えるようになりました。

## デジタルイラストのはじめ方—アイビスペイントを使いこなすコツ

—みいるかさんをきっかけにデジタルイラストを始めたいという方も多いと思いますが、アイビスペイントはどんな点で始めやすいと感じますか？

**みいるかさん:** 無料で始められるのは大きな特長だと思っています。これからお絵かきを始めたいという相談には、まずアイビスペイントをおすすめすることが多いです。気軽に始められるハードルの低さに加え、充実した機能で、「無料で本格的にデジタルイラストが描ける」ことが魅力だと感じています。

また、UI の分かりやすさも重要です。例えば、ブラシなどのアイコンに機能名が表示されていてわかりやすく、気になる機能があったらその名前前で調べられるというのも便利です。公式の動画なども含めて使い方がすぐに見つかるので、「これってこうやって使うんだ」と理解できる環境が整っています。

私も独学で始めたので、簡単に調べながら使える点は、初心者にとってもありがたいポイントだと思います。



—実際にデジタルでイラストを描く子どもたちも増えている中で、みいるかさんご自身はアイビスペイントをどのように活用されていますか？

**みいるかさん:** 基本的にイラストはアイビスペイントで描くことが多く、iPad と Apple Pencil で制作しています。一番気に入っている機能は「自動選択」で、隙間の認識精度がとても高く、塗り作業の効率がかなり上がります。選択範囲が視覚的にすぐ分かる点も使いやすく、作業中の細かいストレスが減るのも魅力だと思います。

### 「ひとつの意見がすべてではない」自分の絵に自信をもって続けていくために

—最後に、これから絵を描き始めたい方へメッセージをお願いします。

**みいるかさん:** まずは「イラストは気軽に楽しんで描いていいものだ」ということを伝えたいです。たくさんお金をかけて準備せずとも、紙とペンでスタートしていいし、デジタルであればスマホとアイビスペイントでも始められます。まずは気になる道具を手にとってみて、そこから楽しんで始めてくれたらいいなと思っています。



「くらげとゆるいるか」 2024 年  
iPad Air アイビスペイント、プロクリエイト

—では、みいるかさんのように将来プロを目指したいと考えている方へはどのようなアドバイスがありますか？

**みいるかさん:** 一番は、自分の絵を大事にしてほしいなと思います。人に見せる機会が増えると、褒めてもらえることもあります。一方で、指摘や否定的な意見をもらうこともあります。そういう言葉を受け取ったときに、自分の絵がダメなものに感じてしまうこともあると思います。

でも、その時の自分が一生懸命描いたものは、ちゃんと大切にしてほしいですし、自信を持っていいものだと思います。絵を嫌いにならないでいてほしいですね。

—さまざまな意見との向き合い方については、どのように考えていますか？

**みいるかさん:** 私自身も中学生のころ、今のような絵柄で描いていたときに、先生から「幼稚な絵だね」と言われたことがありました。当時は「絵が下手という意味なのかな」と受け取ってしまって、落ち込んだこともありました。でも、文房具屋さんなどでキャラクターを見ると、同じようにかわいいタッチの絵がたくさんあることに気づいて、「こういう表現を好きな人もいるんだ」と思えたんです。

なので、言葉を無理に前向きに変換する必要はないと思いますが、「ひとつの意見がすべてではない」と少し距離を取って考えられるといいのかなと思います。それぞれに合う表現があり、それを好きだと思ってくれる人も必ずいるので、自分の絵を大切にしながら続けていってほしいです。

—かわいいタッチのイラストの奥に、子どもたちへの深い思いやりと、創作への真摯な姿勢が宿っていました。本日はありがとうございました！

### お話を伺ったのは

イラストレーター

みいるか 氏

元水族館解説員の経歴を持つ、イラストレーター兼動画クリエイター。子どもたちが海の生き物に興味を持つきっかけを届けるため、SNS を中心に幅広く活動している。

SNS 活動 2 年目には、【TikTok Creator Awards Japan2022 Popular Creator of the Year】を受賞。2026 年現在、SNS 総フォロワー数は 150 万人を超える。水族館解説員としての経験を生かしたイベントも全国各地で開催し、SNS をきっかけに知った多くのファンを集めている。SNS で展開中の、いるかのようせい『ゆるいるか』は、3 歳の頃からイラストが好きな作者の想いから生まれたオリジナルキャラクター。イラスト・漫画・アニメ、時にはぬいぐるみ劇を通して、ゆるくてかわいい世界を発信している。

みいるかさんは 2026 年 7 月に書籍の発売も予定しています。

また、7 月 20 日(月・祝)には発売を記念してみいるかさんと会えるイベント(サイン会)を開催します。詳細は公式サイトをチェックしてください！

[sho.jp/kids-book/85939](https://www.shogakukan.co.jp/books/09227460)



『ゆるいるかと 海の生きもののひみつ』(画像上)

2026 年 7 月 15 日発売 定価：1430 円(税込) 発行：小学館

作・絵／みいるか 監／鴨川シーワールド

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09227460>

『おはなし ゆるいるか きらきら★海のふしぎな出会い』(画像下)

2026 年 7 月 17 日発売 定価：902 円(税込) 発行：小学館

著／白井かなこ 絵・原作／みいるか

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09231552>

## モバイルペイントアプリ「ibisPaint」

「ibisPaint (アイビスペイント)」は、指一本で本格的なイラストが描けるモバイルペイントアプリで、基本的な機能は無料、さらに高度な機能を有料会員向けに展開中。19 言語に対応し、世界 200 以上の国と地域からのダウンロード数は累計 5.4 億を達成(2026 年 5 月末日時点)。モバイルペイントアプリで世界のコミュニケーションを創造する、をモットーに、日本のアニメや漫画のお絵描き文化を、Z 世代や α 世代を中心とする世界中のユーザーへ届けております。



URL : <https://ibispaint.com>

## 株式会社アイビスについて

株式会社アイビスは、モバイルに精通した高度な技術のエキスパート集団です。

モバイル無双で世界中に“ウォ！”を創り続けるというミッションのもと、自社の技術を地球の裏側まで届けるべく、ビジネスをグローバルに展開しております。今後もユーザーの皆さまの要望に応えるために、さらなるアプリの機能拡充や使いやすさの向上に努めてまいります。

会社名 : 株式会社アイビス  
本社所在地 : 東京都中央区八丁堀一丁目5番1号  
代表取締役社長 : 神谷 栄治  
事業内容 : モバイルペイントアプリ「ibisPaint」の開発／運営、  
及び受託開発／IT 技術者派遣  
設立 : 2000 年 5 月 11 日  
上場市場 : 東京証券取引所グロース市場（証券コード:9343）  
URL : <https://www.ibis.ne.jp/>



※メディアの方に限り、本文章に使用されている画像は許諾なく使用して構いません。